

ひの研究・研修 ニュース

令和5年度校内研究 研究通信 No.1 2023. 7. 19

れいわごねんど けんきゅうてーま

令和5年度の研究テーマ

ほんこう ぎ が すくーる む たぶれっと じっせんてきかつよう じょうほうぎょうゆう

「本校におけるGIGAスクールに向けて ～タブレットの実践的活用と情報共有～」

さくねんど あいしーていーき きかつよう きょういんぜんいん すきる あっぶ めざ こんねんど ひ つづ かくくらす あいしーていーき き かつようほうほう かんが じっせん ほんこう がくしゅうてきこうか み だ
昨年度から、ICT機器活用における教員全員のスキルアップを目指してきました。今年度も引き続き、各クラスでICT機器の活用方法を考え、実践し、本校における学習的効果を見つけ出します。

校内研究会

がつ こうないけんきゅうかい こんねんど けんきゅうてーま けんきゅうほうほう かくにん かくくらす あいぱど ぐーぐる みーと
5月には、校内研究会で今年度の研究テーマ・研究方法について確認しました。各クラスのiPadをGoogle Meetにつないで行いました。本校では昨年度に引き続き、iPadの使い方や学習活動への取り入れ方について、クラスの教員同士で話し合いながら考えていくこととしました。また、今年度もICT支援員さんが週に数回来校してくださっており、わからないことや改善する方法を聞きながら実践を重ねていく予定です。

実践例

がつ かくくらす がくねん じっせん おこな こんかい なか しょうがくぶ と く しょうかい
6月から各クラス・学年での実践を行ってきました。今回はその中から、小学部の取り組みを紹介します。

朝の会・帰りの会（1年生）

しき しんこうひょう おこな きーのーとあぶり しょう ひょうじ
これまでめくり式の進行表で行っていたのを、keynoteアプリを使用して表示するようにした。

学習効果

- 電子機器である為、児童の注目は集めやすかった。
- 進行するときだけ画面をタッチできる児童を決めることで、朝の会・帰りの会への参加意欲を高められる効果があった。

改善点

- 前に出て挨拶をする場面で、画面を触ってしまう児童が時々いたが、「ルールを知る」という指導に繋がられるのではないかな。
- 教員が現在操作しているが、スライドを選択するなど、子どもたちの係の仕事にしていけるといい。



生活科 歯磨き指導(2年生)

歯磨きの手順に沿って「丁寧な歯磨き」の仕方を学習した。まず、導入として作成した、歯磨きをしないとむし歯になってしまうという内容のアニメーションを見て、歯磨きに興味をもてるようにした。次に、磨く歯の位置と歯ブラシの動かし方をアニメーションで示した。前に出て実践する児童の目の前にiPadを置き、アニメーションに従って練習できるようにした。Apple TVに接続し、待っている児童も、テレビで歯磨きの手順を確認できるようにした。

学習効果

導入のアニメーションは、効果音も付けたことでどの児童も注目していた。

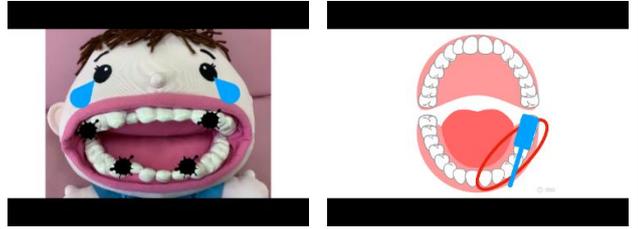
歯磨きの手順の説明の段階で、テレビに映ったアニメーションに沿って自分の歯ブラシを動かす児童もいた。

前に出て実践する場面では、何人かの児童が動画をよく見て自分で歯磨きしていた。

注目が難しい児童も、教員がそばについてiPadに注目を促し、手を持って歯ブラシを一緒に動かすことで、最後まで練習に取り組むことができていた。

改善点

授業だけでなく、給食後にも練習に取り組んでいきたい。その際、iPadのアニメーションだけでなく、紙の手順書、鏡を見ながらなど、実態に応じて段階的にツールを使い分けていきたい。



図画工作(5年生)

プラバンでキーホルダーを作った。プラバンをトースターで焼く時間に、プラバンが縮んでいく様子をiPadのビデオカメラで映し、テレビでその映像が流れるようにした。

学習効果

テレビに映るプラバンの様子に注目できる児童が多かった。

プラバンが小さくなっていく様子を大画面で見られたことで、出来上がりに期待感をもつ児童が多かった。

改善点

プラバンを焼いている児童が真正面で見られるよう、専用の席を用意すればよかった。



小学部では、子どもたちに「注目を促す」ためのツールとして、教員がiPadやテレビなどのICT機器を活用する実践が多く集まりました。ICT機器を活用することで、子どもたちにとって注目すべき場所が明確になります。その結果、学習内容に興味関心や見通しがもてたり、理解が深まったりすることが期待されます。今回紹介した小学部低学年での実践では、注目すべき場所が明確になったことにより、意欲をもって学習に参加する児童の姿が多く見られました。5年生の取り組みでは、座席に座っているとなかなか見えづらい作品制作の過程を動画で詳しく示すことで、プラバンをトースターで焼くという活動の意義が理解でき、より意欲的に取り組むことができました。

今後も、全校でICT機器の活用実践を共有し、より効果的な活用方法について考えていきます。